



元気 やる気 笑顔

学校教育目標 ○なかよく助け合う子 ○元気で明るい子 ○よく考え 自ら学ぶ子

4 2日間の長い夏休みが無事に終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。大きな事故などがなく無事に本日を迎えられたのは、保護者の皆様と地域の皆様の温かなご協力・見守りがあってこそと、深く感謝申し上げます。

1年の中で最も長い2学期が始まりました。まだまだ暑い日が続きますので、熱中症対策に十分に配慮しながら学習や生活を進めていきたいと思えます。子どもたちが元気に学校生活を送れるよう、ご家庭でも早寝や早起き、朝食をしっかりと食べるなど生活リズムを整えるためにご協力をよろしくお願ひします。

2学期は充実の学期となります。学習をはじめ、たくさんの行事も控えております。保護者や地域の皆様のお力をお借りして、教職員一同子どもたちの成長のため全力で教育活動を行っていきたく思えますので、ご協力のほど、どうぞよろしくお願ひします。



【職員研修】

夏休み期間中に実施した校内における職員研修を紹介します。

普段はまとまった時間がなかなか取れないことから、教育活動の充実を図るために長期休業を利用して、様々な研修を実施しています。授業や児童指導に関すること、サービスや働き方改革に関わることなどについて、グループで協議したり講話を聴いたりしました。

研修をする際、児童の実態を常に意識し、子どもたちにどんな力を付けたいのかを考えながら協議を進めました。これらの研修は、2学期の教育活動に結び付けていける取り組みになりました。

○ いじめ防止研修（7/26）

「児童指導主任研修」の際に使用した資料（事例）をもとに、問題点と適切な対応について3グループに分かれて協議しました。いじめの早期発見や速やかな対応をするために組織力を生かし、児童ファーストの視点を重視していきたく思えます。



○ 業務改善研修（7/28）

現在、教員の働き方改革に関して、様々な形で取り上げられています。8月28日にも「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（提言）」が出されました。本校においても児童とかわる時間を確保するため、どのような改善ができるかを話し合いました。

「すぐできるもの」「今年度中に取り組みそうなもの」「来年度以降に組みたいもの」「個人で取り組むもの」などに分類し、何をいつ取り組めば業務の効率化が図られるかを協議しました。



○ コンプライアンス・サービス研修（7/31）

学校及び個人のコンプライアンス意識を高めるとともに、教職員としての高い倫理観をもって行動規範を確立することをねらいとしています。アンケート調査結果や具体的な事例をもとに、要因や対応の仕方、自分が気を付けることや取り組んでいくことなどを考え、グループで意見交換をしました。

○ 総合的な学習の時間に関する講話・演習（8/1）

栃木市教育委員会と下都賀教育事務所の指導主事を講師に迎え、学習の進め方や「今、子どもたちに求められている力」などのお話を伺いました。その後、各学年に分かれ1年間で学習する内容に関する計画や評価の見直しを図るとともに、学年間のつながりについても検討しました。

○ 道徳の授業に関する研修（8/1）

宇都宮大学共同教育学部の先生を講師に迎え、「道徳科の授業づくり」と題するお話を伺いました。改めて道徳の時間にどのような教育活動をするのか、大切に考える考え方はどんなことかなど、分かりやすい説明を受けました。その後、低・中・高ブロックに分かれ、実際に指導案を作成しました。



【学校課題】

本校では、今年度「**主体的に読み解く力を高め、考えを深める子の育成～読み解いたことをもとに自分の考えをもち伝え合う授業づくり～**」を研究主題として教育活動を推進しています。

前年度の取組の成果と課題を受け、教職員が組織的に1年間をとおして取り組む内容となります。本校の教育目標は「なかよく助け合う子、元気で明るい子、よく考え自ら学ぶ子」であり、「元気・やる気・笑顔」をスローガンに掲げて日々の教育に取り組んでいます。その中の「よく考え自ら学ぶ子」を受けた「進んで楽しく深く学ぶ児童」の育成に資するものとなります。

具体的には、国語科を中心とした対話的な学びの実現に向けた授業改善に取り組みたいと考えています。そのためには、本校児童の課題である、自分の考えを筋道立てて話したり、根拠を明確に示しながら、分かりやすく表現したりする力の育成が必要不可欠となります。単元のゴールを明確にし、児童が主体的に読み解いたことをもとに自分の考えをもつこと、さらに友達や教師との対話を通して、考えを揺さぶり、確かな力としていくことを目的とした授業改善に取り組んでいこうと考えています。主な研究内容は以下の3つとなります。

- 主体的に読み解き、自分の考えを伝える力を育てるための授業づくり
- 基礎・基本の確実な定着のための全校での共通理解
- 家庭と連携し、読む力を支える学習に取り組めるようにする

夏休み期間中の研修をとおして、改めて共通理解を図るとともに、各先生方がとちぎっ子学習状況調査や全国学力・学習状況調査の結果分析を踏まえ、2学期からの授業実践の準備をしています。学校だけの取組ではなく、ご家庭のご協力をいただくことも必要となりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



【防災の日】9/1

9月1日は防災の日となります。なぜ9月1日が防災の日になったかを「知らなかった」国民が49.2%にのぼることを日本赤十字社が発表しました。全国の男女合計1,200名を対象にアンケートを実施し、その結果、若年世代ほど由来を理解していない人が多くなっているとのことでした。

今からちょうど100年前の1923年9月1日、午前11時58分に関東大震災が発生しました。この地震によって首都東京を中心に10万人以上の方が亡くなり、広範囲に火災が起きるなど甚大な被害が発生しました。

近年、地震だけではなく、豪雨に伴う洪水等、災害を身近な事として捉え、発生を想定し、事前に準備しておくことの必要性がより高まっています。学校では、様々な教科で防災教育を取り入れ、学級活動等で発達段階に応じた学習をしています。防災教育では、「自助」「共助」「公助」の3つが大切になりますが、小学校では、自分の身は自分で守る「自助」ができるようにし、中学校での「共助」の意識につなげていきたいと思っています。

2学期以降、様々な想定で避難訓練を行っていきます。この「防災の日」を機会として、お子様と災害への備え

防災の日



について、次のようなことを確認にしてみたいでしょうか。

- 栃木市が出しているハザードマップ
- 災害が起きた際の連絡方法等
- 災害が起きた際に持ち出す非常持出袋
- 災害が起きた際の避難所と経路等

（震災遺構）

夏休みを利用して、宮城県石巻市の震災遺構を訪れてきました。

東日本大震災で甚大な被害を受け、多くの犠牲者が出た東北地方の沿岸部にあり、海岸からわずかな距離にあった大川小学校と門脇小学校です。教訓を後世に伝えるため、石巻市が震災遺構として整備している建物となります。

大川小学校では74名の児童の尊い命が失われました。一方の門脇小学校では津波火災が発生し、校舎が炎に包まれましたが、学校管理下では一人の犠牲者も出ませんでした。

この結果を分けたのは日頃からの備えにあったようです。地震・津波被害の想定、そのための避難訓練、そして実際に起きた時にとつ



【大川小】



【門脇小】

た行動、これらが重なり大きな差となってしまいました。この教訓は他人事ではなく、日頃から「想定外」をなくすよう想定し、訓練しておくことが大切であると改めて考えさせられました。

学校行事やお知らせ・各種おたよりをホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<http://tm2.tcn.ed.jp/nishikatasho>

